

ASEANへの医療国際展開の課題と新たなアプローチ (MExx構想のご紹介)

Medical Excellence JAPAN

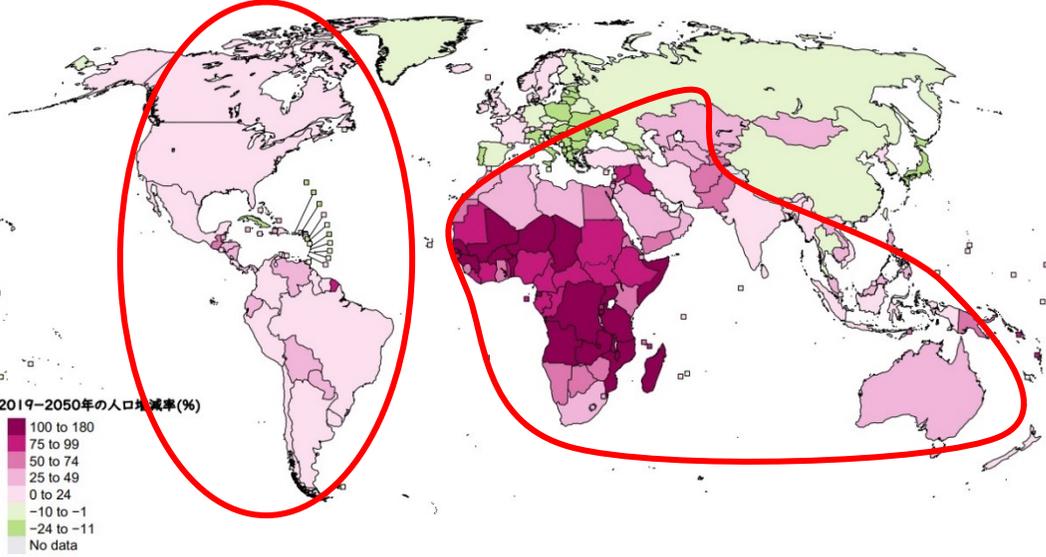
業務執行理事 北野選也



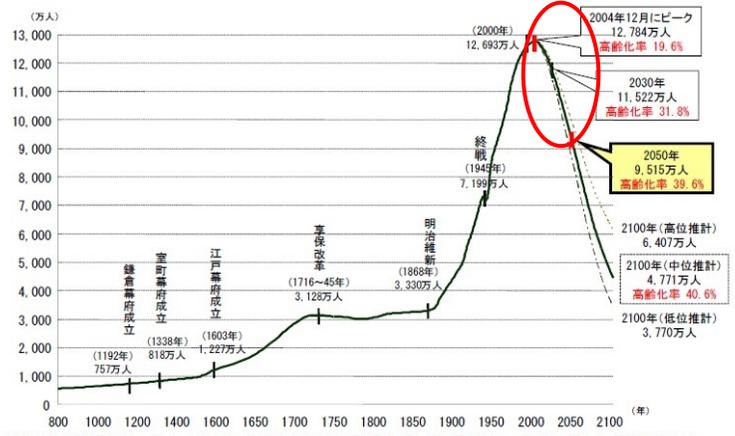
2023年6月7日

ASEAN市場の魅力

- ・世界の人口は77億人、2050年には100億人に近づく
- ・一方で日本の人口は、2050年には1億人を割る
- ・2050年に向けて人口が増加していく地域は、アジア・アフリカ、アメリカ大陸。東アジア、欧州は減少
- ・人口増加地域、減少地域のニーズを踏まえた戦略・戦術を策定しているか



データ：国際連合経済社会局 世界人口推計 2019年度版
「2019～2050年の人口増減」(中位推計による)

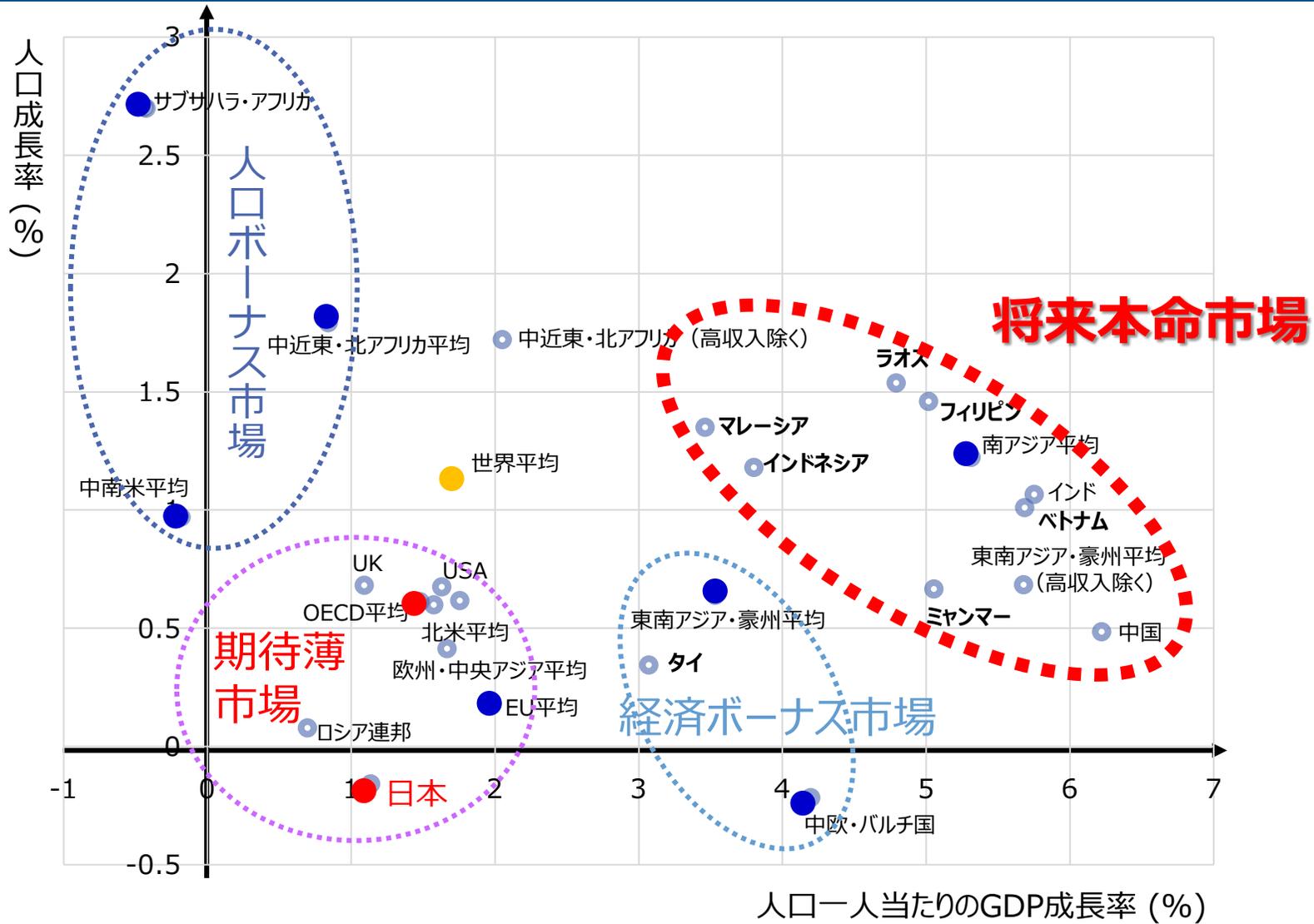


(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による推測推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成



データ：国際連合人口基金 駐日事務所 世界人口推移グラフ
人類誕生から2050年までの世界人口の推移(推計値)グラフ

ASEAN市場の魅力



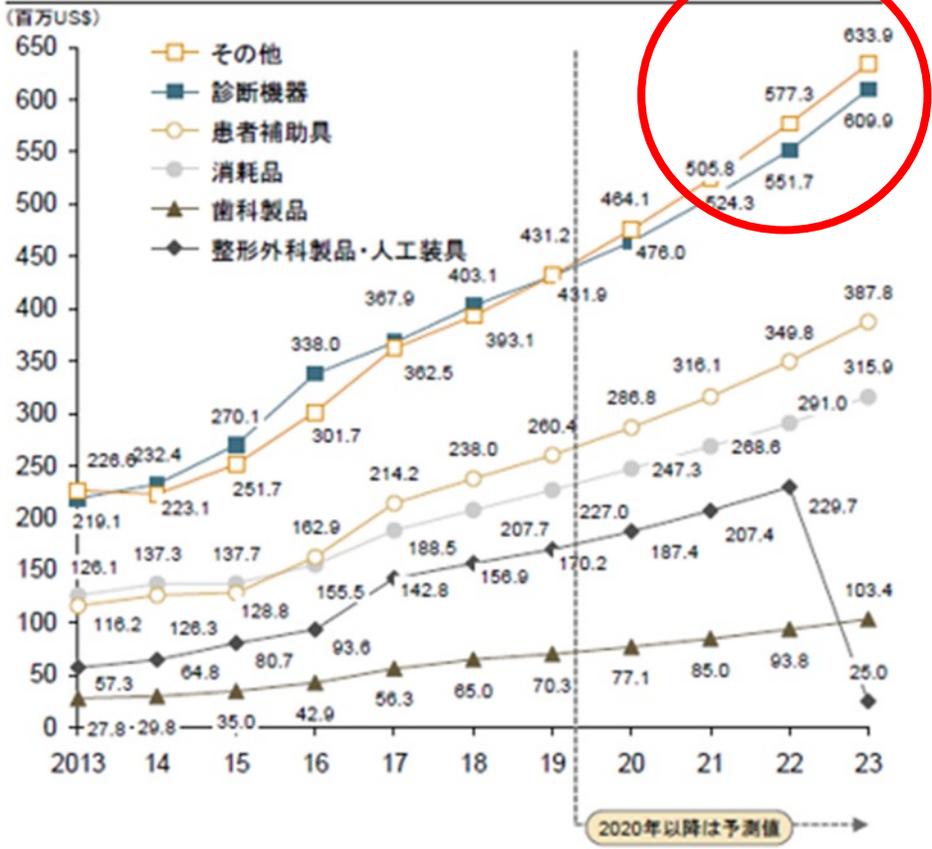
The World Bank DataをもとにMEJ小林が作成

※GDP成長率も人口成長率も2014~2019のCAGR値

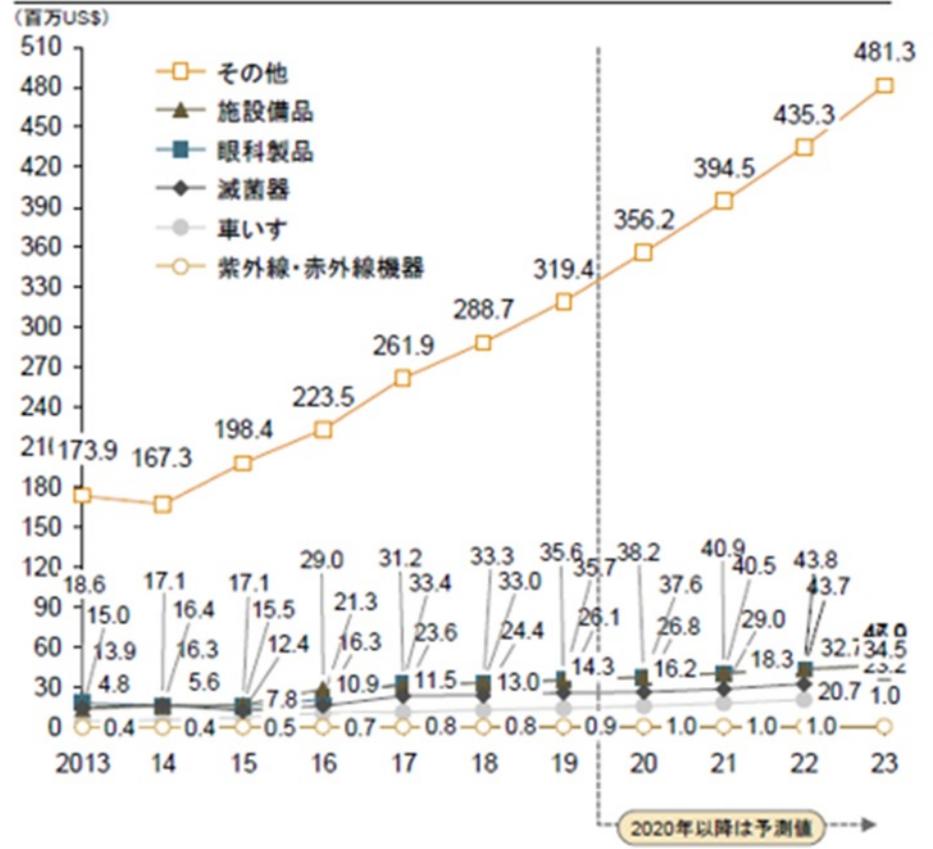
ASEAN市場の魅力（ベトナムの例）

ベトナムでは、診断機器の市場規模が拡大。健康診断の義務化と普及に力を入れている

医療機器別市場規模



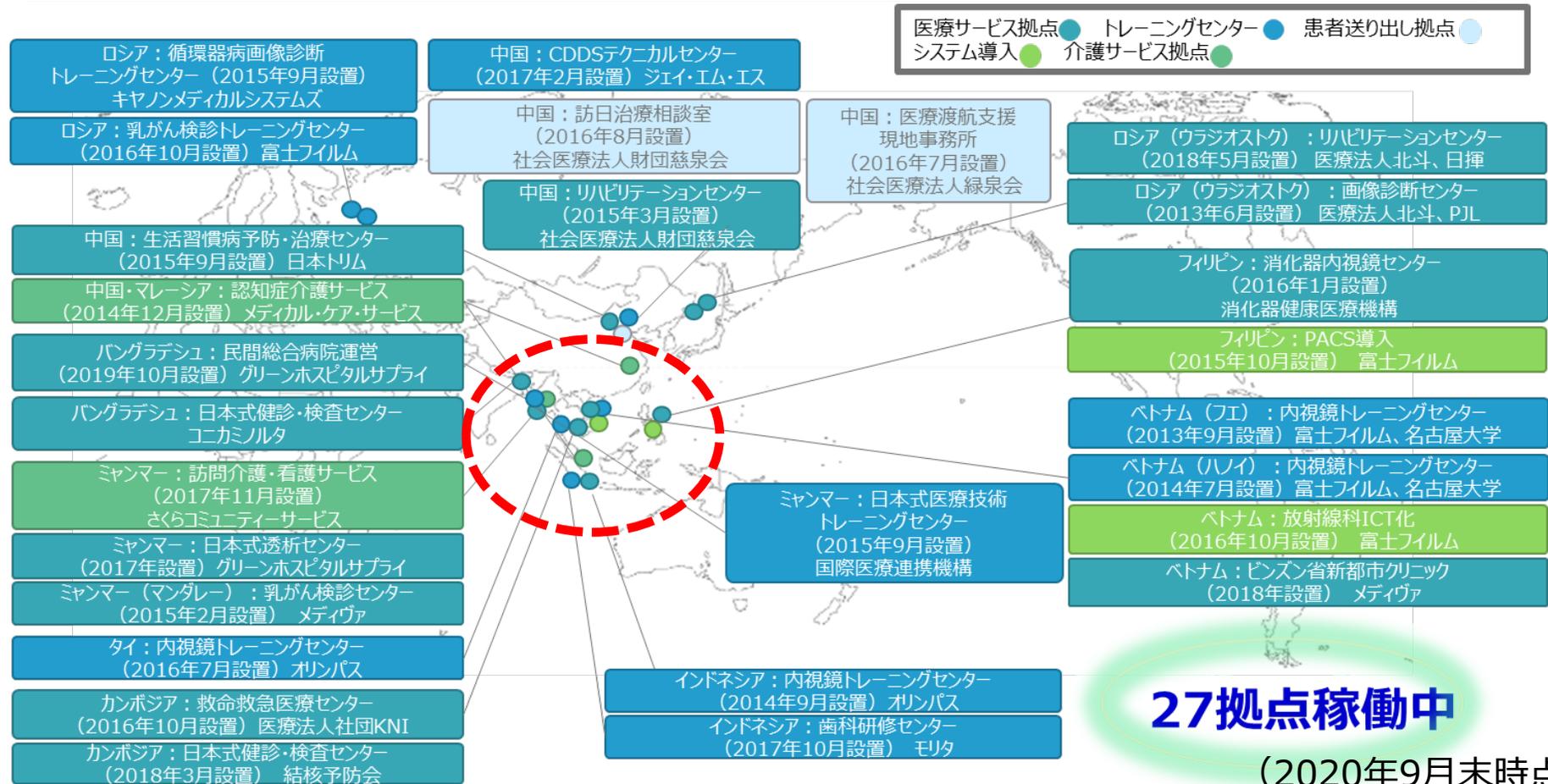
(参考)医療機器別市場規模 - その他の内訳



データ：経済産業省2021年3月、医療国際展開カントリーレポート新興国等のヘルスケア市場環境に関する基本情報ベトナム編

政府目標の2020年に20拠点以上を達成

現地ニーズは、現地医療従事者へのトレーニングへの期待
トレセン数は、33%だが、医療サービス拠点でのトレーニング要請を含めると77%



27拠点稼働中

（2020年9月末時点）

海外拠点化事業の成果例

世界の拠点で日本の医療の展開と共に日本製の医療機器導入



フィリピン
国際先進消化器内視鏡センター



ミャンマー
日本式医療施設整備運営 (CTセンター)



ロシア
日露循環器画像診断トレーニングセンター



ブラジル
大腸がん検診センター



タイ
内視鏡トレーニングセンター

過去事業調査を実施（経済産業省2019年度事業）

実施事項	実施概要	事業者数
レポート 調査・確認	・過去に公開されている実証調査事業報告書から、事業フレーム「 社会的要因 」「 政治的要因 」「 市場要因 」「 経済要因 」「 組織要因 」に基づき事業概要の整理を実施	146事業
現地視察	・カンボジア、ラオス、ブラジルの医療サービス拠点の事業実施状況を確認するため現地医療機関を訪問し、事業者ヒアリングを実施	5事業
事業者 アンケート	・最新の事業の取組状況の確認のため、アンケートを実施 ・アンケート項目として事業の投資・回収の項目を設定・確認を実施 ・全146件中、重複分除いた108事業が対象	108事業
個別 ヒアリング	・事業者アンケート結果から、医療サービス拠点およびトレーニングセンターを対象として現在稼働中もしくは撤退済の事業者を中心にヒアリングを実施し個別の成功・失敗要因の確認を実施	13事業者 28事業



社会

社会保障制度
文化など



政治

法律・規制など



市場

競合、患者ニーズ、
疾病構造環境など



経済

採算性や
資金調達など



組織

自社都合、
自国パートナー、
相手国パートナー、
相手国内での実践の場

事業の成功・失敗を分けた要因

① 自社都合（組織）

⇒ 長期戦の覚悟を以て取り組みこと、属人的で無く組織対応は成功の必須条件

② 採算性（経済） ⇒ 事業立ち上がりには想定以上に時間が掛かる

③ 相手国パートナー（組織） ⇒ ★ 途中で梯子外されるケースあり

④ 法律・規制（政治） ⇒ ★ 思わぬところにトラップあり

⑤ 患者ニーズ・疾病構造（市場）

⇒ ★ マクロデータと現場の不一致、公開データは参考程度

⇒ 商品、サービス内容、価格面で『現地化』を図ることができるか

日本の付加価値を持たせた医療の普及や他事業者への波及効果、自社社員の人材育成に至るまで、投資回収以外の成果（数値測定が困難な定性的な効果）が得られる事が確認でき、過去実施事業について十分な成果があった。

【例】 ●「日本の付加価値を持たせた医療」の海外への普及

- 相手国の医療の質の向上、地域医療への貢献
(例：ミャンマー、ベトナム、インドネシア、タイなどのトレーニング拠点)
- より有効性の高い医療行為の普及（例：中国のリハセンター拠点）
- 現地ニーズへの対応（例：脳神経外科治療、カンボジア総合病院）

● 諸外国のキーパーソンとの関係強化

- 現地で影響力のある官僚や医療者等とのパイプ（例：ロシア循環器病画像センター）

● 他の後発事業者への波及

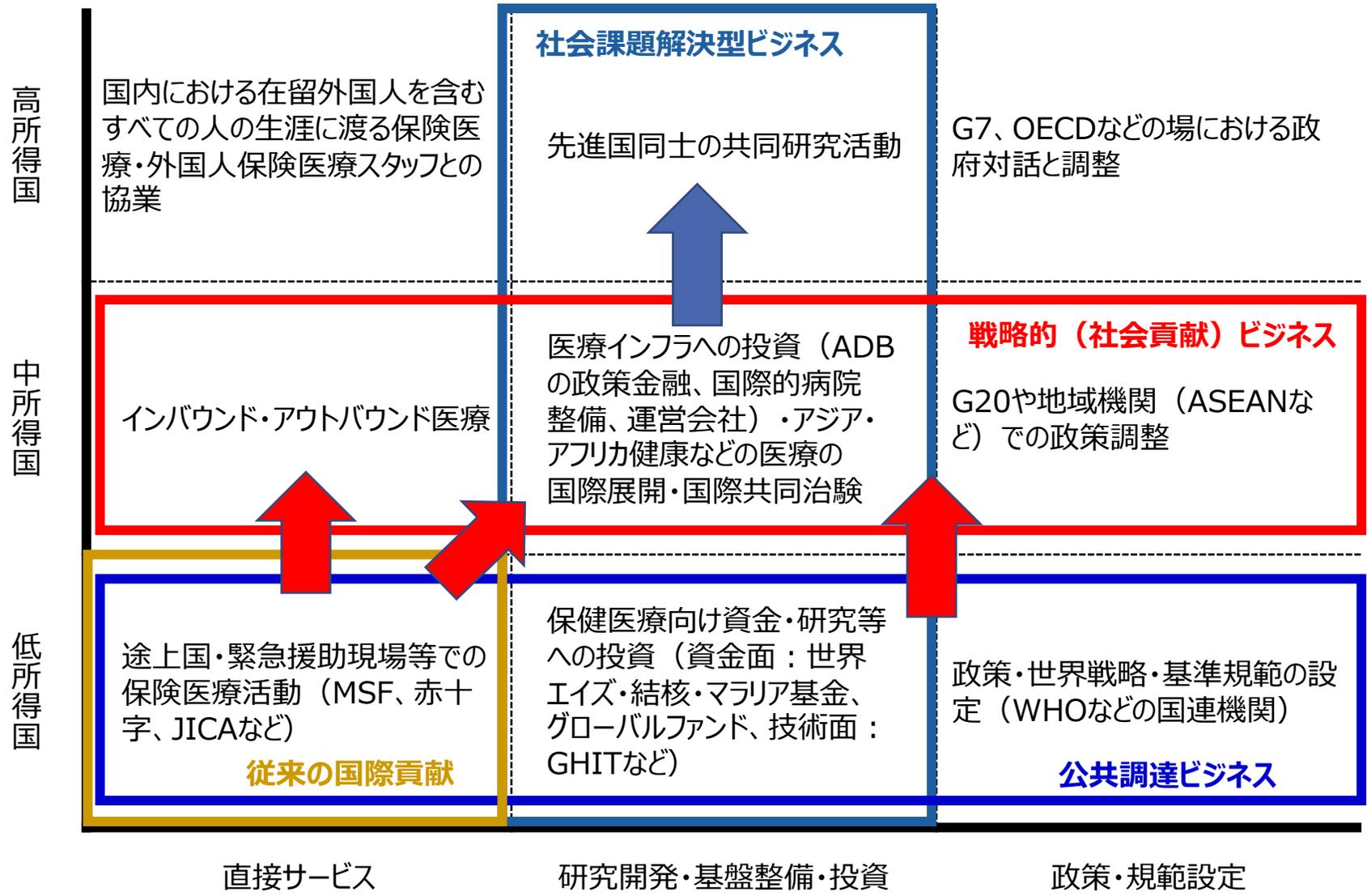
- 既存拠点を活用した拠点設置事業者以外の事業者による対象国への進出

● 自社の海外展開の推進対象国にて様々なニーズが発見でき、自社の他事業への展開

- 海外展開への検討を通じた自社社員の成長



新興国市場参入のためのディメンション



中谷比呂樹先生「公衆衛生の国際化、グローバル化への課題と展望」（2020・公衆衛生vol.84）

支援体制の強化の必要性

現地の医療課題解決が新興国進出の鍵（点、線から面展開へ）

◆事業者へのサポート

- 対象国の情報提供体制強化
- 「現地に精通」した「信頼できる」パートナー組織（者）とのマッチング体制整備

◆対象国への働き掛け

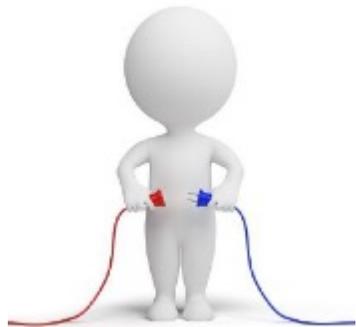
- 事業者の許認可制度への対応フォロー、事業者と協力態勢がとれる施設（事業）の模索

◆窓口機能

- 的確な関係省庁（日本・相手国）、規制当局、その他の関係機関への繋ぎ など

MExx構想の立ち上げへ

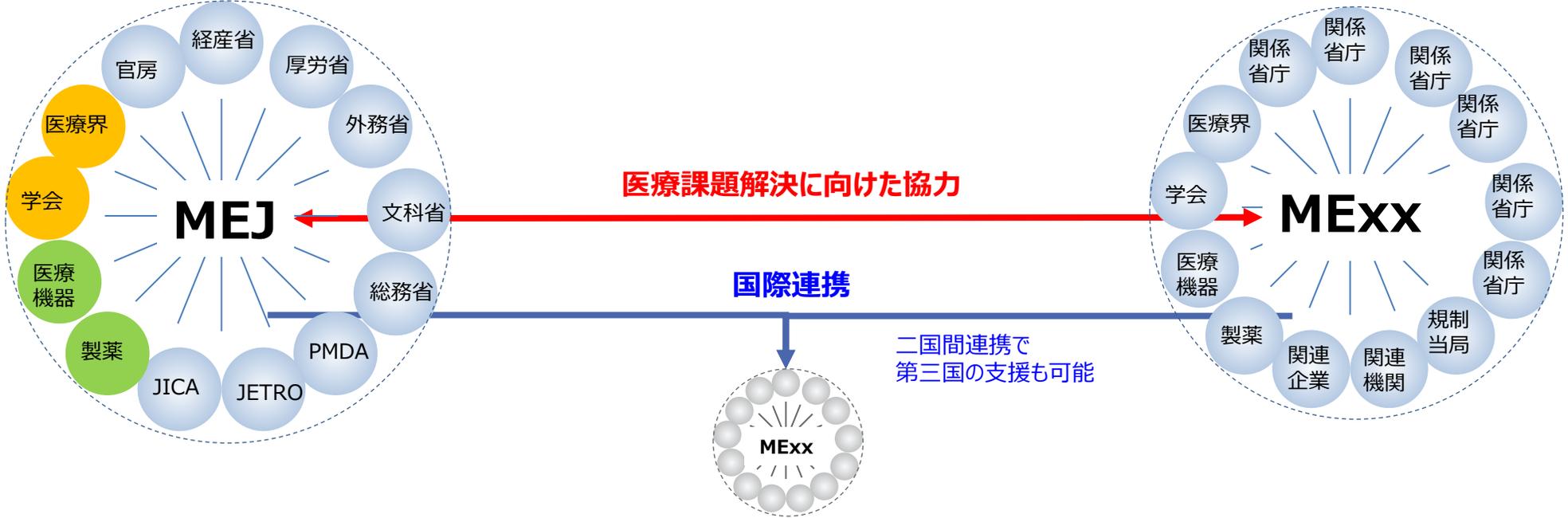
- ✓ 医療機器導入には、薬事からトレーニングまで多岐にわたる支援が必要
- ✓ COIに違反しない形での医療者の協力が必要
- ✓ 個社では、相手国保健省や病院トップへの働き掛けは困難
- ➔ 各国に医療の発展、産業の育成・成長を支援する組織として、MEJのような産官学医連携組織があれば助かる



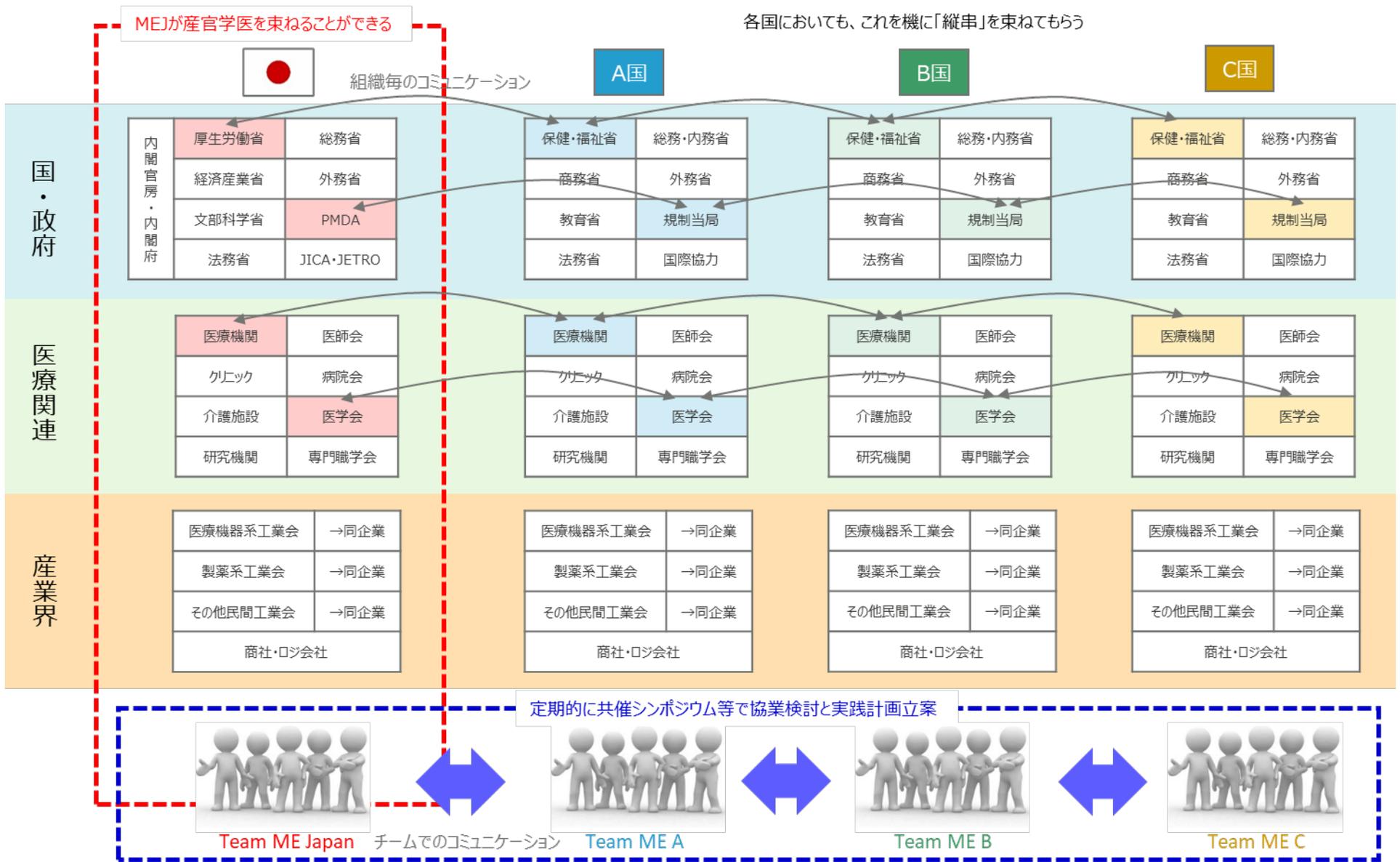
MExx構想の推進 (XXには国・地域)

各国の医療課題解決や国際展開を意識した医療協力・連携を行う

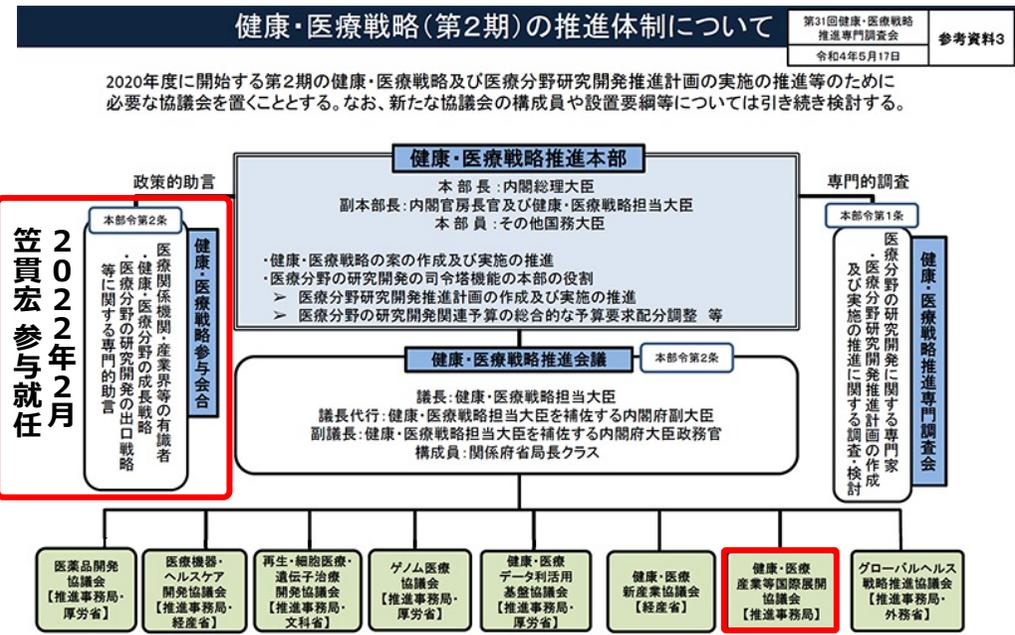
- ① 政府のエンドースを受けた『産学医連携の医療国際展開の民間窓口』
- ② 目指すのは『患者中心の合理的医療の実現』
- ③ 両国の医療の発展、産業の育成・成長を支援する組織
- ④ 医療の互惠関係を確立し、両国の医療の海外展開をサポート



MExx構想のイメージ



Medical Excellence JAPAN (MEJ)



- 一般社団法人Medical Excellence JAPAN (MEJ) は、日本の成長戦略の柱の一つ、**健康・医療の国際展開の推進**という政府の方針の下、これを実践する**中核的な組織**として、2011年に設立。2013年に日本政府の成長戦略に基づいて新生MEJとして改組
- 「日本再興戦略2013」及び「健康・医療戦略」、2014年以降の改訂版において、**医療の国際展開を担う中核機関**として明記。歴代理事長が、**健康・医療戦略参与**として政策的助言
- 設立以来、経済産業省を中心に**医療国際展開事業等を受託**し、医療機器を中心とする医療産業及び医療機関の国際展開を支援

MEJの主な事業

2011年設立以来、日本医療の国際展開事業を支援、活性化を図る

企業会員 44社 / MEJフォーラム会員 40施設 (+特別会員 5学会)
/ JIH 47施設 / 医療渡航フォーラム 50社
会費と認証事業収入のほか、METI等からの事業を受託して運営



国内事業者の 医療国際支援事業

- ①医療の国際展開に関する情報提供
- ②海外関係者との交流機会の提供
- ③海外拠点化の企画立案の支援
- ④現地に於ける拠点化実行の支援



広報事業

- ①海外での治療を検討する患者へ
に向けた日本医療の訴求
- ②海外政府・医療機関へ向けた
日本医療の訴求
- ③医療の国際展開セミナーの開催
- ④フォーラム・シンポジウムの開催



認証事業

- ①JIHの推奨
(Japan International Hospitals)
- ②医療渡航支援企業
(AMTAC) の認証
- ③JIH連携送り出し医療機関の認証



日本医療の 導入支援事業

日本の医療サービス、医療機器などの
導入支援

※ **MEJフォーラム**： 医療の国際展開を志すナショナルセンターや大学病院、民間医療機関を中心に、医学会も参加する医療系会員

※ **Japan International Hospitals (JIH)**： 積極的に海外からの患者を受入れを行っている病院のうち、認証を受けた病院

※ **医療渡航フォーラム**： コンプライアンス遵守を最重要に考えるインバウンドの患者受入れを行う医療渡航支援企業を主たる会員とするフォーラム

MEJが目指す医療の国際展開

将来的に事業化することを目指して国際展開する医療機関・医師・企業に様々な側面から協力・支援し、事業を行い易くするプラットフォームを提供します

ハブ組織としてのMEJ



- 事業の国際展開を推進している企業・団体に対し、MOU締結協力や医師のセミナー登壇調整、関係団体の紹介、マッチングイベント開催等、一企業・一団体では難しい案件の支援・協力を行っています。
- 国際的な活動に関心を持つ医師・医療機関・学会等には、ハブ組織としての役割の他、海外への医療研修支援等、各活動が円滑に推進するようニーズに合わせた協力・支援を行います。

一団体では困難でも、MEJが支援、協力することで、事業の推進が可能

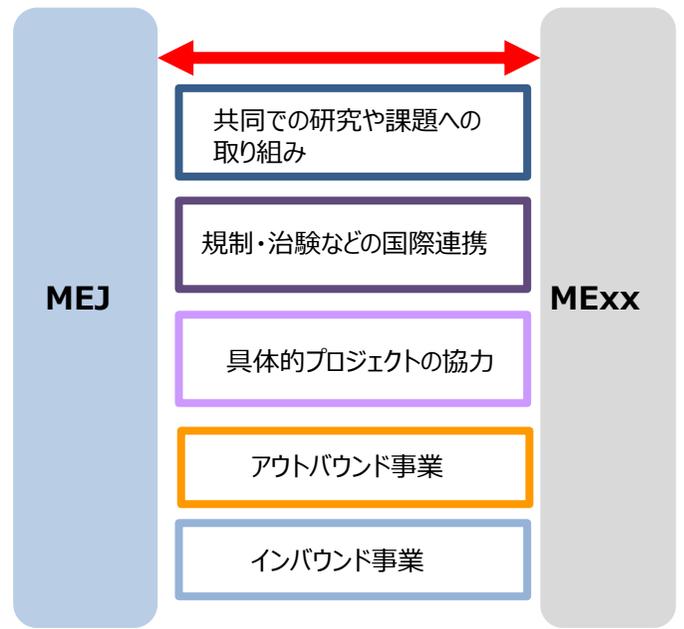
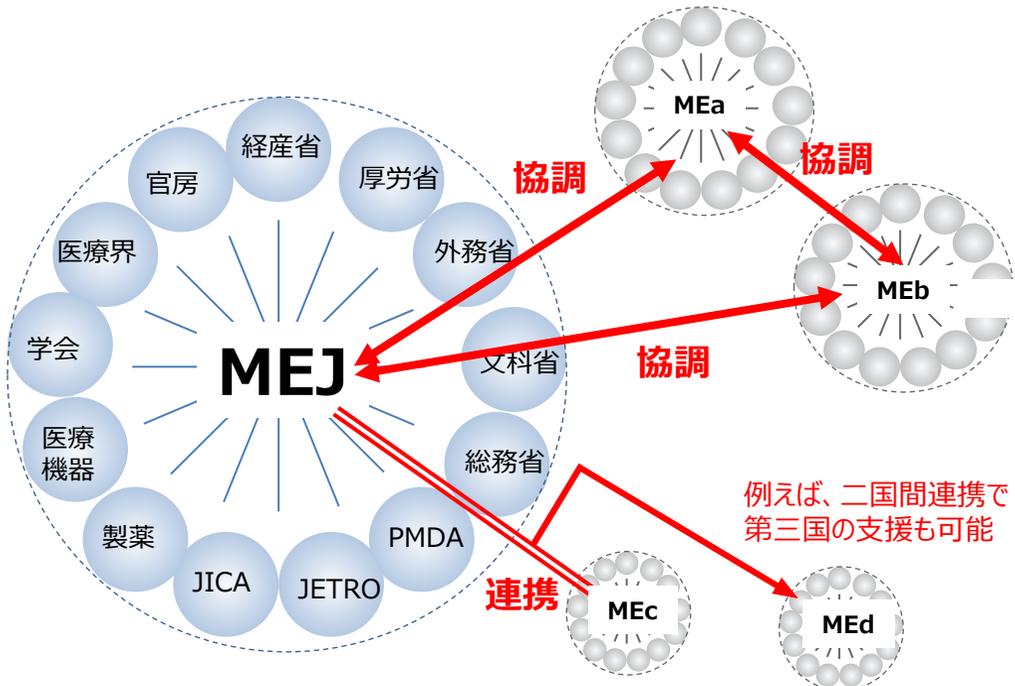
- 日本の国際展開にかかる情報を一元的に把握し、進出機会を提供
- 健康・医療分野における日本政府の成長戦略に積極的に寄与

MExx構想によって、何が出来る？（※xxには、国・地域名が入る）

MExx構想：各国・地域にMEJと同様の産官学医連携組織MExx（xxは国・地域名）の設立を働きかけ、双方の医療・医療産業の発展を目指す取り組み

MEJ、MExxは
何をやるか？

- 例えば
- 相手国キーパーソンへのアドレスがし易くなります
 - 相手国のリアルな医療ニーズを適切なタイミングで入手できます
 - 相手国での産業展開のクリティカルパスが把握できます
 - 相手国での規制緩和や保険収載を進めるステップが踏めます





ベトナムにおけるMExx構想の推進

「Medical Excellence VIETNAM」設立支援と日越の産官学医連携推進に向けた3者間MOU締結（2022年7月）

2022年7月11日、ベトナム ハノイにて、ハノイ医科大学病院（Hanoi Medical University Hospital）、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）とMEJで3者間MOUを締結致しました。

- 「アジア健康構想」に基づき、2019年7月1日に日越両政府で締結されたヘルスケア分野における協力覚書（MOC）に沿ったかたちで、日越の産官学医連携を推進するため、ベトナム保健省をはじめとした同国医療関係者と協議した結果、「Medical Excellence VIETNAM」の事務局候補であるハノイ医科大学病院と、MEJと共に設立支援しているERIAと、本件を継続的な取り組みに発展させるための3者間のMOUを締結



▲MOU調印式 出席者記念撮影



▲左から、MEJ理事 秋山稔、ハノイ医科大学付属病院 院長グエン・ラン・ヒュー（Nguyen Lan Hieu）氏、ERIA COO 八山幸司氏



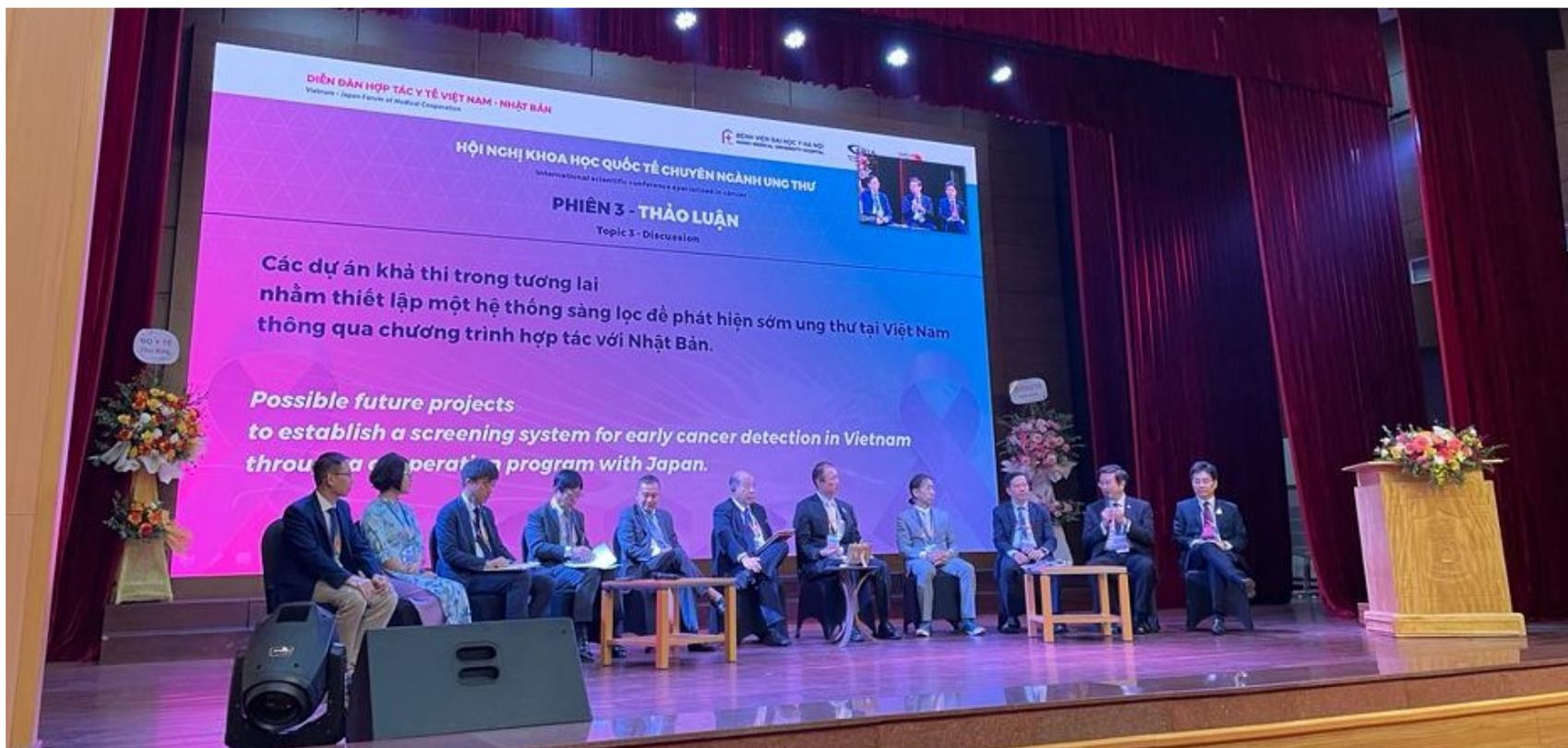
▲3者間でのサインの様子、和やかな雰囲気のもと締結式が執り行われました

第1回 MEV-MEJフォーラム会議開催（2023年3月15日）



2023年3月15日、ハノイ医科大学病院、ERIA、MEJの主催で、記念すべき第1回MEV - MEJフォーラムを開催。MEJ笠貫理事長から「ベトナム国民の皆様のための合理的医療の提供」というフォーラムのゴールが共有されたのち、特別講演として、ベトナム保健省トゥアン副大臣、在越日本国大使館渡邊次席公使から本フォーラムへの期待が述べられました。

第1回フォーラム会議のテーマは「がん検診からはじまるがんの総合対策」であり、主な参加者としてハノイ医科大学病院院長ランヒュー先生、ハノイ医科大学学長バン先生、バクマイ病院院長コ先生、副院長ザップ先生、フェ医科薬科大学学長ファイ先生、副学長タム先生、ホーチミン医科薬科大学学長トウアン先生をはじめ、ベトナムの主要病院・大学、企業など沢山の皆様にご参加をいただきました。



インドにおけるMExx構想の推進

ワークショップでは、笠貫理事量からご挨拶、三好理事からのMEJ/Mexxの紹介、NITI Aayog シニアアドバイザーのMs.Anna Royからの基調講演に続き、インドからは救急医療の現状と課題また医療DXに対する取り組みの紹介、日本からは日医大 高度救急救命センター長横堀先生から日本における病院前救急の現状と取り組みについての講演の後、事務局からコアプロジェクト案の紹介や登壇者によるパネルディスカッションを実施し、今後の両国間の連携テーマを議論しました。

ERIA総長上級顧問の中谷比呂樹先生、インド医学研究評議会 Dr. Rajav Bahl、NITI Aayog Dr.V.K.Paulからのご挨拶では、いずれも今後のMEI-MEIフォーラムを基盤とする両国の連携につき期待が述べられました。

今回Emergency×Digitalを扱いましたが、今回のWSの振り返り、またその他Supply Chain/Aging×Digitalについても、日印双方の有識者によるJoint Strategic Council中心に両国連携テーマとしてのポテンシャルを検討して行き、インドプロジェクトチーム会議で会員よりコメント頂いた「小さくてもまずは一つ成功事例を作る。」事を目指します。



理事の三好による講演の様子



パネルディスカッションの様子



関係者記念撮影

インドにおけるMExx構想の推進

インド保健・家族福祉大臣来日_夕食会(5月15日)

日印ヘルスケア合同委員会への出席を終えたインド共和国保健・家族福祉省マンダビヤ大臣およびインド政府関係者とアウトバウンド委員会インドPTメンバーとの夕食会を帝国ホテルにて開催。当会には内閣官房 伊藤次長、ERIA 八山COOも参加。メディヴァの大石社長が座長を務め、笠貫理事長、マンダビヤ保健大臣からの開会の挨拶後、日本医療機器産業連合会の松本副会長から乾杯のご発声に続き、ERIA 八山COOよりMExx構想の紹介やMEI立ち上げの状況の説明。続いて、参加企業からはインドでの取り組みと課題を8社の企業会員がプレゼンテーションを行った。





台湾におけるMExx構想の推進

海外における初のMExx 台湾における産官学医連携の窓口が設立

2021年9月30日、Medical Excellence Taiwanが設立されました

法人概要

● 登記名

財団法人 台湾医療健康産業卓越聯盟基金会

Medical Excellence Taiwan (MET)

● 董事会 (理事会)

董事25人, 任期4年 監査役: 5人

・衛生福利部枠: 4名 (但し、アカデミアの有識者)

● 資金

Fund to be established : NT\$30million

Working fund : Currently NT\$33million

組織構成 (董事会)

● 医療機関

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・長庚医療財団法人 | ・馬偕紀念医院 |
| ・財団法人高雄医学大学 | ・天成医療体系 |
| ・中国医薬大学附設医院 | ・秀傳医療財団法人 |
| ・新光吳火獅紀念医院 | ・童綜合医療社団法人童綜合医院 |
| ・台北医学大学附設医院 | ・花蓮慈濟医院 |
| ・義大医療財団法人 | ・国泰医療財団法人 |

事業内容

● 台湾の医療健康産業の国内外での交流促進を目的

1. 自国の医療健康産業の国際化・産業化の推進
2. 新南向政策の医療衛生分野の先行調査
3. 特徴を持った自国の医療サービスの宣伝・医療ブランドの強化
4. グローバルでの医療衛生分野の連携及び人材交流の促進
5. 医療健康産業の輸出と交流の促進
6. 医療健康産業のバリューチェーンの融合と海外輸出
7. アジア地域での医療衛生分野の連携及びバリューチェーンの発展
8. 医療サービスと医療産業の国際標準化による品質向上の促進
9. その他国からの委託事項

● 協会団体

- ・社団法人台湾私立医療院所協会
- ・中華民國区域医院協会
- ・社団法人中華牙医学会

● 医療産業界

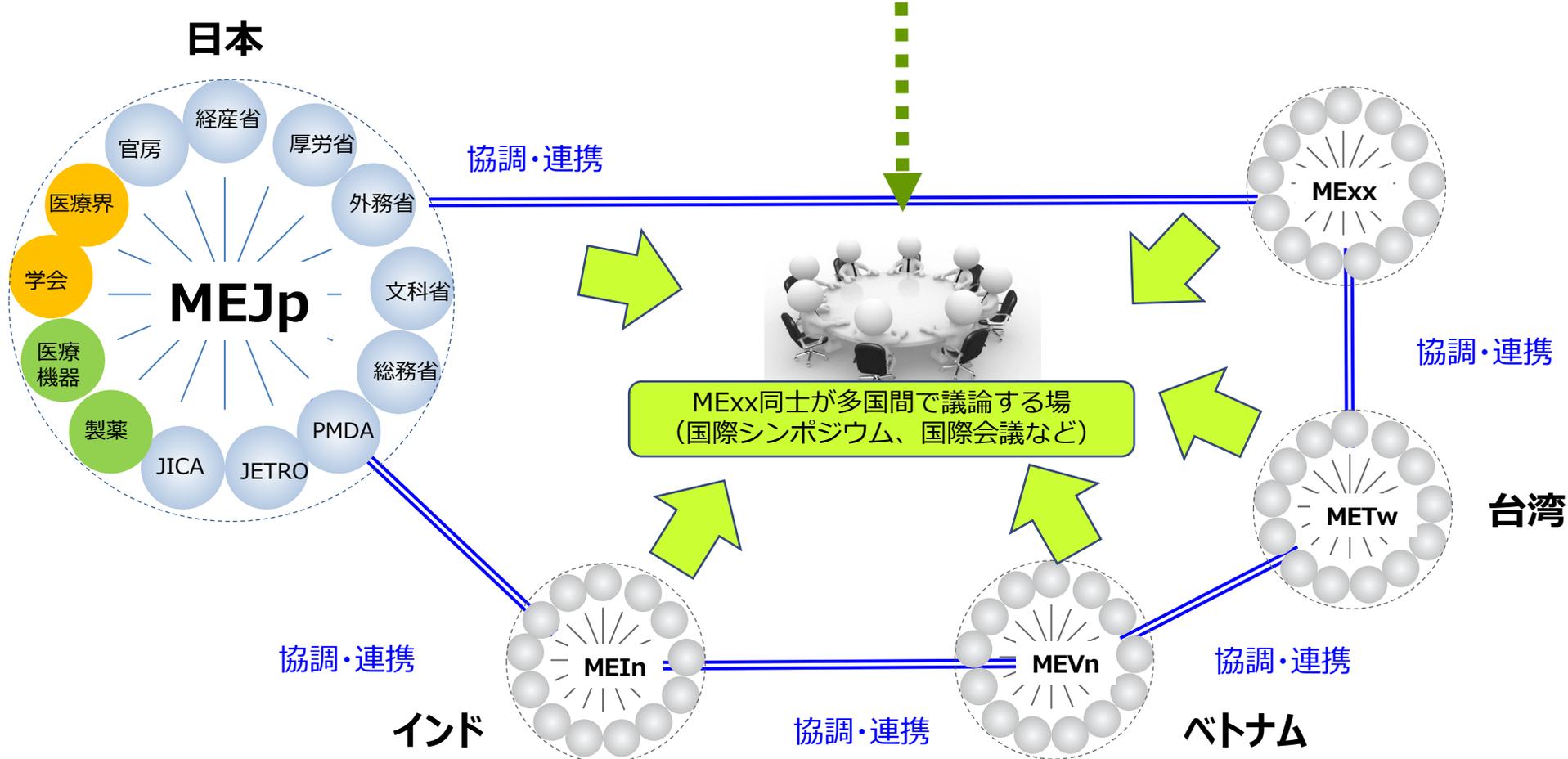
- ・合一生技股份有限公司
- ・荷茂生医科技股份有限公司
- ・東昇牙科材料行有限公司
- ・眾成科技顧問有限公司



MExx構想の発展（多国間連携のイメージ）

MExxはお互いに二国間での協調・連携を行うほか、各MExxが共同で議論や連携をするプラットフォームを構築する。

各国の抱える医療課題を持ち寄り、課題解決に向けた提案や協力行うことができる





- ✓ 日本医療のブランド化の推進
- ✓ 強い医療系のバックボーン
- ✓ 官・産・医へのアドレスが可能
(正しいチームビルディングのお手伝いや国際展開の仕組みの紹介)
- ✓ 過去の国際展開を通じたノウハウの蓄積

是非MEJにご相談ください

ご清聴、ありがとうございました

Medical
Excellence
JAPAN



Medical Excellence JAPAN

medical-excellence-japan.org